



CSたより

2号

コミュニティ・スクール

10月となり、朝夕はめっきり冷えこんでまいりました。周りの景色は、黄金色に輝く稲穂から刈り取られた田一面の様子に徐々に変わってきています。さて、今回は、各学校で実践している「ふるさと科」についてお伝えします。



「ふるさと科」特集

「地域とともにある学校づくり」というコミュニティ・スクールの目標のもと、今年度から朝日町では「ふるさと科」が新設されました。この「ふるさと科」では、地域の方々をゲストティーチャーに招き、子供たちが朝日町の歴史や自然、文化などを学ぶことをねらいとしています。そこで、今回は、ここまでの「ふるさと科」の取組の様子的一端をお伝えします。

1学期

○ 春の四重奏

4月当初の学習として「春の四重奏」があります。残雪の①朝日岳、舟川べりを彩る②桜、極早生の③チューリップ、菜種油を採るための④菜の花が言葉にできない景観を生みます。小鳥が鳴き、春爛漫のこの風情を楽しむさまは、まさにこの世の楽園です。小中学校の子供たちは、それぞれの学校でこの「春の四重奏」を学習します。子供たちは、ふるさと科応援隊の水野瑠美子さんや学校の先生から、この四重奏を造り続けている人々の苦勞と願いを併せて聞き、目の前の春の四重奏を心に焼き付けていました。小学校は現地学習を、中学校ではここまでに至る背景を中心に学習しました。

(4月13日)



あさひ野小学校

(4月14日)



さみさと小学校

(7月20日)



朝日中学校

○ 苗植え指導 (5月11日)



小学校低学年の学習にアサガオや野菜栽培の学習があります。その植え方や育て方について宇田種苗店の宇田晴彦さんが子供たちに指導してくださいました。指導の中で、植物といえども心を込めてやさしく植える大切さを教えていただきました。



○ 護国寺 (5月16日)



護国寺

境地区にある護国寺は、809年に弘法大師によって創建されたと言われる真言宗のお寺です。4月はシャクナゲ、5月はツツジ、6月はサツキと美しい花が咲きます。また、秋は紅葉も素晴らしいところです。小学3年生は、水野瑠美子さんから護国寺のいわれを聞きました。また、庭や花の手入れについても、日々、お寺の方々が熱心に整備されていることに気が付きました。美しいものがいつまでも美しいままでいられる理由や多くの参拝者が護国寺に來訪されるわけも分かりました。

○ 宮崎海岸 (5月18日)

町には、ヒスイ海岸の名称で有名な宮崎海岸があります。小学3年生は、朝日町観光協会参事、平木利明さんから宮崎海岸にあるヒスイテラスの施設利用について聞きました。また、「ひすい恵の会」代表、扇谷誠さんからは、ヒスイ探しのコツを教えてください、潮風に吹かれながら、ヒスイ探しに夢中になっていました。忘れられない学習の一つになりました。



宮崎海岸 (ヒスイ海岸)

○ 小学校合同記録会 (5月19日)



小学校合同記録会

小学校2校で5・6年生による小学校合同記録会がありました。さみさと小学校とあさひ野小学校の子供たちが普段の練習を生かして100m走と50mハードル走に挑戦しました。この記録会までに2つの小学校では、朝日町陸上競技協会の田畑力也さんから指導を受けました。リズムよく、速く跳ぶ練習を何度も行い、自己ベストに挑みました。



○ 大鷲山登山 (6月18日)

中学2年生は、大鷲山登山を行いました。普段、山に登ることがない子供たちは、18名の地域の登山サポーターに支えられて登りました。山頂では、一緒に登った仲間との絆がさらに深まりました。まさに、達成感と充実感に包まれた学習でした。



大鷲山登山



山の紹介

大鷲山
標高817m
・ハクチョウなどの野鳥の渡り鳥や猛禽類のノスリ、クマタカ、ハククマなどに出会えます。

※ 1学期には、この他にもたくさんの「ふるさと科」の学習が小・中学校で行われました。ここで紹介したのは、一例です。

2学期

○ 朝日岳 (9月21日)

中学1年生80名が、町の名前にもなっている朝日岳について大蓮華山保勝会会長、蓬澤正二さんからお話を聞きしました。この朝日岳は、四重奏の一つになっているそうです。中でも、特にびっくりしたのは、朝日岳の近く白馬岳山頂から富士山が見えることやここが隣りの県との接点になっていることです。さらに、朝日岳には7時間も登ります。その道のりを多くの人たちが整備し、現在も山の環境保全に努めていることを聞きました。最後に、朝日小屋の管理人、清水ゆかりさんの飾り気のない話や登山者を思う懸命な働きをVTRで見て、朝日町の自然に多くの人が関わっていることに気付くことができました。



山の紹介

標高2418m

- 高山植物が400種類もある。
オオサクラソウ
シラネアオイ
ミズバショウ など
- ライチョウも生息



子供の感想

- VTRに出てきた清水さんが「お客様にできるだけこの山(朝日岳)に登ってよかった。」「この小屋に来て、よかった。」と言ってもらえるようにしたいと言っていたことにとっても感動しました。
- 朝日小屋の清水さんをはじめ働いている方の笑顔が素敵でした。
- 朝日町(白馬岳)から富士山が見えるということにびっくりしました。
- 蓬澤さんは、朝日岳に登っている回数が260回以上と聞いて驚きました。

○ 宮崎漁港・鹿嶋神社(海の方面) (9月28日)

中学1年生は、宮崎漁港の役割について学習しました。宮崎漁業協同組合長の水島洋さんから「宮崎の漁業や灰付けわかめ」のお話を聞きました。また、鹿嶋神社の宮司、九里文子さんからは、「鹿嶋神社の魅力」や「先人の思い」について聞くことができました。



<水島組合長さんから説明を受けた子供の感想>

- 灰付けわかめは、冷蔵庫がない時代に先人達が灰でまぶして保存させるということを考えました。
- 今日聞いたことを両親に話してみたいと思いました。
- たら汁には、スケソウダラが使われていて、そのタラは、今はとれないそうです。地球の温暖化が原因だということが分かりました。
- 宮崎漁港は、魚がとれる量は1年中あまり変わらないそうです



鹿嶋神社

<九里宮司さんから説明を受けた子供の感想>

- ・ 鹿嶋神社にある彫刻は、ヤマタノオロチを退治する場面が描かれています。また、力士が描かれていて、その力士は北東からくる悪霊や鬼を防いでいるそうです。
- ・ 鹿島樹叢が原始のまま残っているのがすごいと思いました。
- ・ 宮崎の名前の由来は、宮のある岬からきていると知りました。

○ まいぶんKAN・不動堂遺跡・蛭谷和紙作り (山の方面) (9月28日)

まいぶんKANでは、学芸員の川端典子さんから、境A遺跡から出土した様々な土器や道具について教わりました。不動堂遺跡では、水野瑠美子さんから縄文人の生活について学びました。縄文時代に生きる人々の生活跡である遺跡群は、朝日町から発見されています。当時は、ヒスイの加工も盛んに行われ、一大集落を形成していたと考えられています。子供たちの頭の中には、縄文人の姿が浮かんでいたことでしょう。蛭谷自治会館では、夢創塾の塾長、長崎喜一さんから蛭谷和紙の成り立ちを聞き、はがきサイズの和紙作りも体験しました。それぞれの学習場所で、子供たちはたくさんのお話を学びました。



まいぶんKAN



不動堂遺跡



蛭谷和紙

○ 6年生の中学校体験入学 (9月29日)

さみさと小学校とあさひ野小学校の6年生50名が、朝日中学校で体験入学をしました。2つの学校が互いに入り混じって2クラスに分かれ、理科と数学を学習しました。中学校では、2年生が「14歳の挑戦」で職場体験を行っており、教室が空いています。空き教室を利用して、学習しました。来年度は、1年生として中学校生活をともにする子供たちですが、新しい雰囲気の中で、仲良く過ごす姿が見られました。また、先輩である中学1年生や3年生の授業風景にも触れることができました。来年の4月には、安心感とともに希望をもって中学校へ入学して行くことでしょう。



6年生体験入学

<体験入学をした子供たちの感想>

- ・ 少し不安があったけれど、授業を受けたり、学校の中を回ったりして心配しなくても大丈夫だと思った。
- ・ (入学前に) 1回顔を合せておくと緊張感がほぐれる気がして、安心感がわいてきた。



これからも情報を発信していきます。

地域学校協働本部 (朝日町教育センター内)

電話・FAX: 83-0279 担当 山崎

Email: asahi.chiikigakkoukyoudouhonbu@gmail.com